

産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(R2年度:計画作成主体:坂井市農業再生協議会)(福井県)

取組の概要

計画作成主体:坂井市農業再生協議会

対象品目:水稻

(産地面積:164ha)

主な取組主体:(株)アグリフーズ福井

成果目標:販売額の10%以上の増加

基準(R1年度) 210,000,000円

目標(R4年度) 252,000,000円

導入施設等:整備事業(精米施設等)

精米施設および集出荷施設672.41㎡

福井県
坂井市



ポイント

【取組の主題(テーマ)または課題】

- ①コシヒカリの生みの親、石墨博士の出身地坂井市と坂井市産米の知名度向上
- ②地域の農家の所得向上のための米の販売体制整備



【産地としての持続性を確保し、収益力を向上するための方策】

- ①坂井市産米としての販売を強化するため精米施設を整備し、需給バランスに影響されない米販売を目指す
- ②玄米を集荷・流通するための集出荷施設の整備

推進体制

・農林総合事務所(県)
・坂井市

坂井市農業再生協議会

- ①計画の策定・管理
- ②取組計画への助言

指導・助言

情報共有

・協議会と取組主体との
情報共有(取組状況等)
・行政機関(県、市町)による
サポート体制

取組主体
(株)アグリフーズ福井

- ①取組計画の作成
- ②取組実施 等

地域における独自の取組

〈主な取組〉

・水田経営の更なる高度化支援

取組成果

【事業実施による直接効果】

・地域で生産した米の一部を、施設を活用し、坂井市産として直接販売。
(R4:約20,000俵)

【事業実施による間接効果】

・精米の販売促進及び坂井市産米の知名度向上のため、取組主体がキッチンカーによる加工販売部門を立ち上げ、事業を拡大



販売額が増加

～米の販売額～

